

## 業務及び財産の状況に関する説明書 【令和5年12月期】

この説明書は、金融商品取引法第四十六条の四の規定に基づき、全営業所に備え置き公衆の縦覧に供するため作成したものです。

**TF Global Markets Japan 株式会社**

登録番号 関東財務局長（金商）第250号  
一般社団法人 金融先物取引業協会 加入 会員番号1536

I. 当社の概況及び組織に関する事項	3
商号、登録年月日及び登録番号	3
沿革及び経営の組織	3
株式の保有数の上位十位までの株主の氏名又は名称並びにその株式の保有数及び総株主等の議決権に占める当該株式に係る議決権の数の割合	4
法第二十九条の二第一項第三号から第九号までに掲げる事項	4
法第三十七条の七第一項第一号ロ、第二号ロ、第三号ロ又は第四号ロに定める業務に関する苦情処理措置及び紛争解決措置の内容	6
II. 業務の状況に関する事項	6
直近の事業年度における業務の概要	6
直近の三事業年度における業務の状況を示す指標	7
III. 当社の直近の二事業年度における財産の状況に関する事項	8
貸借対照表	8
損益計算書	9
株主資本等変動計算書	10
個別注記表	11
各事業年度終了の日における次に掲げる事項	12
借入金の主要な借入先及び借入金額	12
保有する有価証券の取得価額、時価及び評価損益	12
デリバティブ取引の契約価額、時価及び評価損益	12
IV. 管理の状況に関する事項	12
内部管理の状況の概要	12
法第四十三条の二から第四十三条の三までの規定により管理される金銭、有価証券その他の財産の種類ごとの数量若しくは金額及び管理の状況	12
V. 連結子会社等の状況に関する事項	13
当社及びその子会社等の集団の構成	13
子会社等の商号又は名称、本店又は主たる事務所の所在地、資本金の額、事業の内容等	13

## I. 当社の概況及び組織に関する事項

### イ. 商号、登録年月日及び登録番号

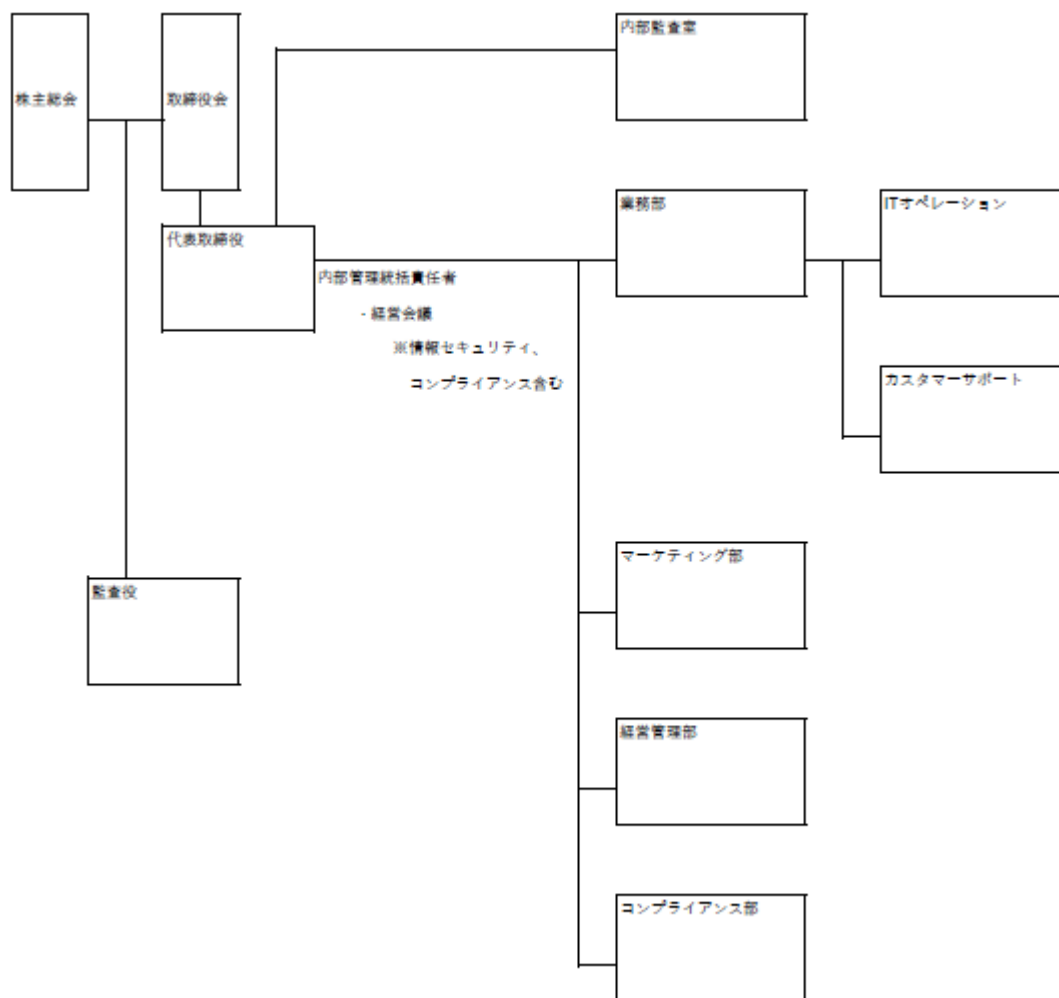
- (1) 商号 TF Global Markets Japan 株式会社
- (2) 登録年月日 平成 19 年 9 月 30 日
- 登録番号 関東財務局長（金商）第 250 号

### ロ. 沿革及び経営の組織

#### (1) 会社の沿革

2004 年（平成 16 年）5 月	会社設立
2004 年（平成 16 年）5 月	外国為替証拠金取引媒介業務開始（GFT 社）
2006 年（平成 18 年）3 月	金融先物取引業者として登録 【関東財務局長（金先）第 120 号】
2006 年（平成 18 年）3 月	金融先物取引業協会に加入 【会員番号 1536】
2007 年（平成 19 年）8 月	会計参与設置
2007 年（平成 19 年）9 月	第一種金融商品取引業者として登録 【登録番号：関東財務局長（金商）第 250 号】
2009 年（平成 21 年）9 月	「Market Link」開発開始
2010 年（平成 22 年）1 月	楽天信託株式会社（旧商号：トランスバリュー信託株式会社）と外為証拠金区分管理信託を契約、開始
2010 年（平成 22 年）2 月	カバー取引先に Capital Market Services を追加
2010 年（平成 22 年）5 月	金融商品取引業務変更登録（プリンシパル）
2010 年（平成 22 年）5 月	新取引システム「Market Link」提供開始
2011 年（平成 23 年）1 月	Market Link の流動性を利用したホワイトラベルサービス 「MT4 Link」提供開始
2012 年（平成 24 年）9 月	カバー取引先に Dukascopy Bank SA を追加
2013 年（平成 25 年）11 月	新取引システム「Trade Link」提供開始
2015 年（平成 27 年）8 月	カバー取引先に LMAX Limited を追加
2020 年（令和 2 年）3 月	TF Global グループが当社株式 100% を取得
2020 年（令和 2 年）12 月	社名を TF Global Markets Japan 株式会社へ変更
2021 年（令和 3 年）3 月	本社を港区赤坂へ移転
2021 年（令和 3 年）3 月	資本金を 248,400,000 円へ増資
2022 年（令和 4 年）2 月	外国証拠金取引（FX 取引）ThinkTrader サービスの提供開始
2022 年（令和 4 年）9 月	サブスク FX®（サブスクリプション会費制度）開始
2023 年（令和 5 年）1 月	ThinkTrader WEB 版の提供開始

(2) 経営の組織



ハ. 株式の保有数の上位十位までの株主の氏名又は名称並びにその株式の保有数及び総株主等の議決権に占める当該株式に係る議決権の数の割合

氏名又は名称	株式の保有数	議決権の割合
TF Global Markets (Aust)	5,192,000 株	100.00 %

ニ. 法第二十九条の二第一項第三号から第九号までに掲げる事項

(1) 役員の名又は名称

役職名	氏名又は名称
代表取締役 CEO	小池 一 弘
取締役	ノーマン・アニーズ
取締役	ハーレイ・ソルト
取締役	岡村 文 之
監査役	野口 直 子

- (2) 政令で定める使用人  
 金融商品取引業に関し、法令等（法令、法令に基づく行政官庁の処分又は定款その他の規則をいう。）を遵守させるための指導に関する業務を統括する者（部長、次長、課長その他いかなる名称を有する者であるかどうかを問わず、当該業務を統括する者の権限を代行し得る地位にある者を含む。）の氏名

役 職 名	氏 名
コンプライアンス部長	西 玄渡

- (3) 業務の種別  
 第一種金融商品取引業  
 金融商品取引法第二十八条第一項第二号に掲げる行為に係る業務（店頭外国為替証拠金取引業務）並びに有価証券等管理業務

- (4) 金融商品取引法第三条各号に掲げる有価証券又は金融商品取引所に上場されていない有価証券（政令で定めるものを除く。）について、電子募集取扱業務を行う場合にあつては、その旨  
 該当事項はありません。

- (5) 本店その他の営業所又は事務所の名称及び所在地

名 称	所 在 地
本 社	東京都港区赤坂2-13-1 ルーセント赤坂3階

- (6) 他に事業を行っているときは、その事業の種類  
 該当事項はありません。

- (7) 指定紛争解決機関の商号又は名称  
 特定非営利活動法人 証券・金融商品あつせん相談センター

- (8) 加入する金融商品取引業協会  
 一般社団法人 金融先物取引業協会

- (9) 対象事業者となる認定投資者保護団体の名称  
 該当事項はありません。

- (10) 会員又は取引参加者となる金融商品取引所の名称又は商号  
 該当事項はありません。

ホ. 法第三十七条の七第一項第一号ロ、第二号ロ、第三号ロ又は第四号ロに定める業務に関する苦情処理措置及び紛争解決措置の内容

お客様からのご意見は、業務部カスタマーサポート担当が承ります。苦情・相談につきましては、当社の定める「苦情・紛争処理規程」に従い、その内容を記録するとともにコンプライアンス部及び内部管理統括責任者に報告するものとし、コンプライアンス部及び内部管理統括責任者は、迅速かつ適切な対応に努めるものとしします。

又、当社は、証券・金融商品取引に関する苦情の対応・解決に関して、金融庁から金融商品取引法に基づく指定紛争解決機関に指定されている「特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：F I N M A C）」と契約を締結しており、公正・中立な立場、並びに迅速かつ透明度の高い処理を図る態勢を整えております。

・TF Global Markets Japan カスタマーサポート（当社のご意見等承り窓口）

受付時間：平日 10:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

受付方法：電子メール、電話

電子メール：support-jp@thinkmarkets.com

電話番号：0120-010-097

・証券・金融商品あっせん相談センター（苦情処理・紛争解決機関連絡先）

電話番号：0120-64-5005

URL：<https://www.finmac.or.jp/contact/soudan/>

東京本部：

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-1-1 第二証券会館

大阪事務所：

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-5-5 大阪平和ビル

## II. 業務の状況に関する事項

### イ. 直近の事業年度における業務の概要

当社は2022年2月にFX取引としてのプラットフォームであるThinkTraderの提供を開始し、同年9月に他社との差別化を図るため、新たなサービスとしてサブスクリプション型の課金方式による「サブスクFX®」を導入しました。

その後、順調に顧客数は増大し、2023年末におけるサブスクFX®からの収入は11,335千円（前期比11,100千円増）となりました。

また、一方で、2021年10月より開始した経費に10%を上乗せした金額を本社より供給を受けるいわゆる「コストプラス10%方式」も継続し、その他受入手数料収益として計上しております。

上記の結果、2023年12月期の純営業収益は197,637千円（前期比55,343千円増）、また当期純利益は19,259千円（前期比13,227千円増）のようになりました。

ロ. 直近の三事業年度における業務の状況を示す指標

(単位：千円)

	第 19 期	第 20 期	第 21 期
(1) 営業収益	151,854	142,293	197,637
純営業収益	151,854	142,293	197,637
(2) 経常利益又は経常損失	17,249	11,145	30,439
(3) 当期純利益又は当期純損失	16,696	6,032	19,259
(4) 資本金の額	248,400	248,400	248,400
発行済株式の総数	5,192,000 株	5,192,000 株	5,192,000 株
(5) 受入手数料の内訳	151,854	142,293	197,637
(6) トレーディング損益	0	0	0

(7) 株券の売買高及びその受託の取扱高

該当事項はありません。

(8) 国債証券、社債権、株券及び投資信託の受益証券の引受高、売出高及び募集、

売出し、私募又は特定投資家向け売付け勧誘等の取扱高

該当事項はありません。

(9) その他業務の状況

該当事項はありません。

(10) 各事業年度終了の日における自己資本規制比率

(単位：百万円)

	第 19 期	第 20 期	第 21 期
固定化されていない自己資本 (A)	76	94	124
リスク相当額 (B)	24	41	50
市場リスク相当額	0	0	0
取引先リスク相当額	1	3	8
基礎リスク相当額	23	38	41
自己資本規制比率 (A)/(B)×100	309.3%	225.4%	244.6%

(11) 各事業年度終了の日における使用人の総数及び外務員の総数

	第 19 期	第 20 期	第 21 期
使用人の総数	9	9	10
(うち外務員の総数)	4	3	4

### Ⅲ. 当社の直近の二事業年度における財産の状況に関する事項

#### イ・(1) 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		第20期		第21期		負 債 の 部		第20期		第21期	
		令和4年12月31日現在		令和5年12月31日現在				令和4年12月31日現在		令和5年12月31日現在	
科 目						科 目					
流 動 資 産		279,290	575,526	流 動 負 債		183,454	449,316				
現金・預金		47,605	8,589	未払金		-	-				
関係会社未収入金		36,255	92,394	預り金		1,935	2,265				
自己差入証拠金		-	-	顧客受入証拠金		128,290	410,201				
立替金		25,384	34,781	未払法人税等		1,304	4,427				
未収消費税		1,889	996	仮受金		545	545				
預け金		7,117	7,117	関係会社未払金		39,698	29,052				
前払費用		1,426	2,050	未払費用		11,679	2,823				
預託金		159,490	426,500	固定負債		-	-				
未収入金		120	3,097	負債合計		183,454	449,316				
固定資産		31,892	20,778								
有形固定資産		1,444	638								
造作設備		-	-								
一括償却資産		1,352	185								
工具器具備品		91	453	株 主 資 本		127,728	146,988				
無形固定資産		13,829	3,416	資 本 金		248,400	248,400				
ソフトウェア		12,030	2,861	資 本 剰 余 金		62,000	62,000				
特許権		1,798	555	資 本 準 備 金		62,000	62,000				
投資その他の資産		16,619	16,723	利 益 剰 余 金		△182,671	△163,411				
長期立替金		9,270	9,270	利 益 準 備 金		15,000	15,000				
保証金		5,348	5,348	そ の 他 利 益 剰 余 金		△197,671	△178,411				
預託金		2,000	2,000	別 途 積 立 金		2,000	2,000				
長期前払費用		-	104	繰 越 利 益 剰 余 金		△199,671	△180,411				
繰 延 資 産		-	-	純 資 産 合 計		127,728	146,988				
繰 延 資 産 合 計		311,183	596,304	負 債 ・ 純 資 産 合 計		311,183	596,304				



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	第20期 自 令和4年4月 1日 至 令和4年12月31日		第21期 自 令和5年1月 1日 至 令和5年12月31日	
	売 上 高			
顧客受入手数料	-		-	
その他受入手数料	142,293		197,637	
システム提供料	-	142,293	-	197,637
売 上 原 価				
取引支払手数料	-		-	
信託報酬	-	-	-	
売 上 総 利 益		142,293		197,637
販売費及び一般管理費		134,778		167,197
営 業 損 益		11,142		30,439
営 業 外 収 益				
受取利息	0		0	
為替差益	-		-	
特許権使用料	-		-	
雑収入	3	3	0	0
経 常 損 益		11,145		30,439
特 別 損 失				
固定資産除去損	-		0	
償却不足額	-	-	4,079	4,079
税引前当期純損益		11,145		26,360
法人税等充当額		5,112		7,100
当期純損益		6,032		19,259

(3) 株主資本等変動計算書

自 令和5年1月1日  
至 令和5年12月31日

(単位：千円)

	株主資本							株主資本 合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				
					任意積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	248,400	62,000	62,000	15,000	2,000	△199,671	△182,671	127,728	127,728
当期変動額	0	0	0						
当期純利益						19,259	19,259	19,259	19,259
当期変動額合計	0	0	0	0	0	19,259	19,259	19,259	19,259
当期末残高	248,400	62,000	62,000	15,000	2,000	△180,411	△163,411	146,988	146,988

自 令和4年4月1日  
至 令和4年12月31日

(単位：千円)

	株主資本							株主資本 合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				
					任意積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	248,400	62,000	62,000	15,000	2,000	△205,703	△188,703	121,696	121,696
当期変動額	0	0	0						
当期純利益						6,032	6,032	6,032	6,032
当期変動額合計	0	0	0	0	0	6,032	6,032	6,032	6,032
当期末残高	248,400	62,000	62,000	15,000	2,000	△199,671	△182,671	127,728	127,728

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

定率法（但し、建物・附属設備は定額法）を採用しております。

##### ②無形固定資産

定額法を採用しております。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

### 2. 貸借対照表に関する注記

#### (1) 関係会社に対する金銭債権・金銭債務

内訳

##### 【令和5年12月期】

短期金銭債権 63,341千円

##### 【令和4年12月期】

短期金銭債務 3,442千円

#### (2) 取締役等に対する金銭債権・金銭債務

内訳

##### 【令和5年12月期】

該当事項はありません。

##### 【令和4年12月期】

該当事項はありません。

### 3. 損益計算書に関する注記

#### (1) 関係会社との取引に係るもの

##### 【令和5年12月期】

その他受入手数料(コストプラス10%方式) 186,302千円

##### 【令和4年12月期】

その他受入手数料(コストプラス10%方式) 142,058千円

### 4. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

##### 【令和5年12月期】

発行済株式

普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式） 5,192,000株

当期増加株式数（発行済普通株式） 0株

当期減少株式数（発行済普通株式） 0株

当期末株式数（発行済普通株式） 5,192,000株

##### 【令和4年12月期】

発行済株式

普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式）	5,192,000 株
当期増加株式数（発行済普通株式）	0 株
当期減少株式数（発行済普通株式）	0 株
当期末株式数（発行済普通株式）	5,192,000 株

- ロ. 各事業年度終了の日における次に掲げる事項
- (1) 借入金の主要な借入先及び借入金額  
該当事項はありません。
  - (2) 保有する有価証券の取得価額、時価及び評価損益  
該当事項はありません。
  - (3) デリバティブ取引の契約価額、時価及び評価損益  
該当事項はありません。

IV. 管理の状況に関する事項

イ. 内部管理の状況の概要

当社はコンプライアンスを経営の最重要課題として位置づけ、金融商品取引業者として役職員が金融商品取引法及び関連法令諸規則を遵守し高い倫理観を以て職務に当たるよう、コンプライアンス部を中心とし社内規程類の整備および各規程類を踏まえ定めた手順書等に従った運用を執り行う態勢を構築しております。

また、お客様に対する態勢で苦情及び相談につきましては、該当窓口の電話番号とメールアドレスを定め、お客様からの申出内容に応じて、苦情・紛争処理規程に基づき適正な対応に努めております。なお、苦情・紛争他お客様の状況につきましては、業務部から社内に情報共有を図っております。他、顧客情報・内部情報などの管理については業務部 IT オペレーションを中心に適切な情報管理を確保すべく、情報セキュリティ管理規程等を踏まえ適切な取扱いを確保し、サイバーセキュリティ等について全役職員への周知徹底を図っております。

最後に監査体制といたしましては、代表取締役直轄の内部監査室にて、年間の監査計画に基づき業務状況、法令・諸規則の遵守状況の監査等を行うよう努めております。

ロ. 法第四十三条の二から第四十三条の三までの規定により管理される金銭、有価証券その他の財産の種類ごとの数量若しくは金額及び管理の状況

当社にて定める「区分管理に関する規程」に従い、顧客から預託を受けた証拠金は、各顧客の持分が直ちに判別できるように管理します。また受入した顧客の証拠金については、証拠金保全のため、信託会社との間に顧客区分管理信託契約を締結し、当該契約に定める内容に基づき同証拠金を金銭信託の方法により自己の固有財産と区分して保全措置を実施しております。

(百万円)

管理の方法	当期末残高	前期末残高	内訳
金銭信託	426	159	SBI クリアリング信託

## V. 連結子会社等の状況に関する事項

- イ. 当社及びその子会社等の集団の構成  
該当事項はありません。
- ロ. 子会社等の商号又は名称、本店又は主たる事務所の所在地、資本金の額、事業の内容等  
該当事項はありません。